

## 湖西大学校交換留学 月例報告書 2025年3月

留学先大学：湖西大学校  
国際文化学科 2年

### ○出国前の手続きなど

必要な書類を静岡文化芸術大学に提出し、VISAを取りに行きました。留学が決定してから書類提出の通知が来るまで少し時間がかかりますが、書類を揃えるのに時間がかかるため、留学が決定したらすぐに動き始めた方が良かったなと思いました。留学はD-2のVISAが必要です。管轄地域によって申請する大使館・領事館が異なるため、あらかじめ調べて行くといいと思います。

### ○出国当日

中部国際空港から出国し、2時間ほどで仁川空港に到着しました。入国審査を終え少し待つたら湖西大学の担当の方がピックアップに来てくださったので、他の日本人留学生の子と一緒に寮まで向かいました。昼の便で出国しましたが、寮についたのは夕方でした。

### ○寮について

事前に2人部屋と4人部屋を選択することができ、私は2人部屋を選択しました。シャワーとトイレと洗濯機は共同です。調理などはできませんが、電子レンジとウォーターサーバーがあります。月曜日から金曜日の朝までは、朝ごはんと夜ご飯を寮の食堂で食べることができます。私は辛い物が苦手なため少し心配していましたが、食べられないほど辛い物はありません。とはいっても全体的に辛いので、だんだん辛さに耐性が付いてきます。

### ○大学での生活

韓国では3月から新学期が始まります。当たり前ですが、授業は全部韓国語で行われるため、少し癖の強い韓国語を話す先生の授業は聞き取るのが大変です。韓国語の授業は韓国語と英語を混ぜて授業を行っています。

3月中旬からはバディープログラムやEMCが開始しました。バディープログラムは4人が一組になって交流を深めるプログラムです。一週間に1回は会わなければならないので、みんなの都合が合わないと少し大変ですが、韓国人と交流を深めるいい機会だと思います。EMCは日本語を教えるアルバイトみたいなものです。週に2時間、韓国人に日本語を教えています。人によって全部日本語で会話をしたり、韓国語のみで会話をしたりします。

## ○おわりに

留学に来て早くも1ヶ月が経ちました。少しホームシックになっている時に、大学の先生が“Two roads diverged in a wood and I, I took the one less traveled by, and that has made all the difference”というロバート・フロストの言葉を紹介してくれました。この留学を通して自分が成長できるように、あと2ヶ月と少し頑張ろうと思います。

